

北海道学び推進月間の取組

釧路教育局
令和元年12月6日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道釧路湖陵高等学校（北海道春の学び推進月間の取組）

教科の学習方法について理解し進路実現に向けた学習に取り組む姿勢を養うガイダンスの実施（宿泊研修）

北海道釧路湖陵高等学校では、4月17日（水）から19日（金）の3日間、新1年生が参加する宿泊研修において、国語、数学、英語の学習方法についてのガイダンス及び学習会を行いました。

生徒は、各教科における予習・復習の仕方やテストの活用方法について理解するとともに、課題解決や探究のための資料の活用

や協働的な学習活動の方法などについて実体験として学ぶ機会をとおして、高校での学びを充実させるために必要な学習習慣や学習に取り組む態度について考えることができました。

高校での学習への不安を和らげるとともに、進路実現に向けた学習に意欲的に取り組むことができるようになるきっかけとして、大変有意義な機会となりました。



【ガイダンスの様子】

○ 釧路市立昭和小学校（北海道秋の学び推進月間の取組）

「『学び合い』の良さを実感できる授業」をテーマとした公開研究会の開催

釧路市立昭和小学校では、今年度「自ら学び、かかわり合いの中で、考えを深める子供の育成」を研究主題として全校で授業改善に取り組んでいます。11月8日（金）に実施された公開研究会では、管内から約140名の先生が参加し、「『学び合い』の良さを実感できる授業」を目指した研究授業を行いました。

また、研究協議では、「子どもの思考をつなぐ手立てと場の工夫」を柱として話し合い、参加者から「教師の発問が、子どもの考えを広げていた」「児童は、自分の考えを伝え合い、学び合う姿があった」などの声が寄せられました。

今後は、取組の成果と課題を整理して、さらなる授業改善を図っていきます。



【研究授業の様子】

「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道標茶高等学校1年 遠藤優璃さん
「『わからない』意欲湧き出る キーワード」
☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 標茶町立中茶安別中学校1年 門田穂香さん
「広げよう 自分の世界 努力して」
北海道釧路北陽高等学校3年 小野海夢さん
「今やろう 学べる幸せ かみしめて」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございます。